

平成 29 年度 大学入学共通テスト試行調査 世界史 B【解答】

問題 番号	設問	解答 番号	正解	備考	問題 番号	設問	解答 番号	正解	備考
第 1 問	A	1	1		第 4 問	A	1	19	3
		2	2				2	20	3
		3	3	4			3	21	2
	B	4	4	3		B	4	22	1
		5	5	2			5	23	2
		6	6	3			6	24	1
第 2 問	A	1	7	1	第 5 問	A	1	25	3
		2	8	3			2	26	4
		3	9	4			3	27	3
	B	4	10	3		B	4	28	2 または 6
		5	11	1			29	解答番号 20 が 2 の場合は 5 解答番号 28 が 6 の場合は 2	* 2
		6	12	4			5	30	4
第 3 問	A	1	13	4	第 6 問	1	31	4	
		2	14	2		2	32	2, 5	* 3
		3	15	1		3	33	4	
	B	4	16	4		4	34	3	
		5	17	2		5	35	1	
		6	18	1		6	36	4	

(注)

* 1 は、二つ以上マークしている場合は不正解とする。

* 2 は、解答番号 20 で 2 を選択した場合は 5 を、6 を選択した場合は 2 を正解とする。

* 3 は、過不足なくマークしている場合のみ正解とする。正解のいずれかをマークしている場合に部分点を与えるかどうかは、本調査の分析結果を踏まえ、検討する予定。



平成 29 年度 大学入学共通テスト 試行調査

世界史 B

Foresight 現役東大生の個別学習指導
オンライン家庭教師

■ 出題分析

配点	試験時間	大問数	センターとの難易度比較
100 点	60 分	6 題	やや難
センターとの分量比較			
減少 同程度 増加	設問数はセンター試験と変化がない。しかし、設問ごとに資料を読み取る問題が存在するなど、解答にあたって読み取るべき分量は増加しているといえる。		

<トピックス>

- 資料を読み取るべき問題が増加している。
- 世界史の知識ではなく、資料を適切に読み取れば正答できる問題が存在している。
- 細かい知識はセンター試験ほど多くは求められなくなっている。

■ 全体分析

用語や年代の正誤を直接問う問題は減少し、写真や統計、家系図といった資料をもとにした設問が増加している。そのような問題のなかでも、特に地図上の点と出来事に関する文の正しい組み合わせを選ぶ問題が多くなっている。資料問題が増えた分、センター試験で頻出だった細かい知識を問う問題は減少してはいるものの、求められる知識のレベルが低下したわけではない。むしろ、歴史の大きな流れを理解していることが前提となる問題が増えている分、全体として求められる理解のレベルは上がったといえるだろう。

■ 大問別分析

※ 難易度は5段階表示で、フォーサイトの見解によるものです

問題	出題分野・テーマ	センター試験との相違点・コメント	難易度※
1	歴史資料	共通テストで多数使われる資料そのものを題材にした大問。各設問の資料と組み合わせで正解に至るプロセスが若干難しかった。	標準
2	人の移動や人口の増減	全大問で最も正答率が低かった。出題形式というより出題テーマ、設問内容が難しかったと思われる。「人の移動」というテーマは歴史の横のつながりというポイントに合致し、共通テストにおいて頻出になると考えられる。	やや難
3	世界史上の民衆反乱	資料を多く用いている点は他の大問と同様だが、問2のように図から出来事を読み取り、それを年代順に並び変える問題が共通テストらしかった。	やや難
4	世界史における家族や家庭	さまざまな図を使った資料が多かった。特に大問の最初に登場する家系図は、センター試験ではほとんど使われることがなかった資料である。地図を使った問題は共通テスト本番でも多く出題すると考えられる。	標準
5	第一次世界大戦	読解すべき資料の文章が多かった大問。問4は正解が2パターン存在する新形式の問題だったが、テーマ自体は典型的なものだった。	標準



6	近代オリンピックと 世界史とのつながり	この大問では、従来のセンター試験から出題形式等の大きな変更はなかった。しかし、問2のように2つ正解を選ばせるという問題は目新しい。	標準
---	------------------------	---	----

■ 合格への学習アドバイス

なんといっても、資料の読み取りが決定的に重要であった。これまでのセンター試験でも資料問題はある程度出題されていたが、それらは各設問において資料の内容と直接関係しないことを問うものばかりであった（資料内の特定の単語に関連した知識を問うものなど）。しかし共通テストの試行調査では、図やグラフ、文章といった資料を読み解かせたうえで、その内容について各設問で問うという問題が多数出題された。この傾向は共通テスト本番にも引き継がれると思われ、ほとんどの大問にわたって大量に資料問題が出題されることが予想される。このため、センター試験では知識の丸暗記でも点数を稼ぐことができたが、共通テストではそのような手段は通用しづらくなるだろう。

共通テストの資料問題に向けて対策するうえで重要となるのは、断片的な知識のみを身につけるのではなく、その出来事や人物の背景、つまり歴史の流れと一緒に事象を理解し暗記することである。教科書や用語集だけでなく資料集も活用して学習を進めれば、出来事や人物といった知識と、データや図といった視覚的情報をおのずと結び付けられるようになるはずだ。

平成 29 年度 大学入学共通テスト試行調査 世界史 B

第 1 問

出題範囲	歴史資料
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：7 分 ふつう：9 分 苦手：10 分
講評	要求される世界史の知識は基礎的なものが多いが、資料と組み合わせて正答に至るプロセスがセンター試験より難しい。とはいえ正答率はおおむね 6 割程度で、全く歯が立たないというわけでもないだろう。問 3 や問 5 のようなリード文や資料を参照するだけで正解に至ることができる問題は、確実に正答したい。

問 1 1 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 倭の諸国が中国に往来するとき、日本列島により近い朝鮮半島を経由することが多かった。楽浪郡は中国王朝の玄関口として倭の使節も多く訪れていたとされる。
- ② 誤 楽浪郡は、衛氏朝鮮を滅ぼした漢の武帝によって設置された直轄地のひとつである。現在の北朝鮮のピョンヤン周辺にあったとされている。
- ③ 誤 百済の建国は 4 世紀以降のこと。同時期に成立したヤマト王権と協力関係にあった。7 世紀には白村江の戦いで日本・百済と唐・新羅が対決した。
- ④ 誤 広開土王は、4 世紀末～5 世紀初めの高句麗の王。百済などの周辺諸国を攻撃し領土を拡大させたことで知られる。「好太王碑」（「広開土王碑」）には高句麗と百済・倭の交戦が記されているが、リード文の示している時代は 1 世紀であるため不適。このことは、高句麗が楽浪郡を滅ぼした国であることからわかる。
- 以上より、正解は①。

問 2 2 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

冊封体制について基本的な理解ができていれば正答できた。冊封・朝貢の関係は、周辺諸国の支配者が中国皇帝に臣下の礼をとり、中国皇帝が支配者に対して王・侯といった爵位を与えることで支配を許す、**見かけ上の君臣関係**である。

- ① 誤 『後漢書』東夷伝の記事の中に、貢物の対価として金と絹とを支払ったという記述は見られない。
- ② 正 上の冊封・朝貢に関する説明に適する。
- ③ 誤 冊封されても中国王朝の支配に取り込まれるわけではなく、周辺諸国は独立して支配を行っていた。
- ④ 誤 ③と同様。

以上より、正解は②。

問 3 3 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

①～③はいずれも「倭」を表す文字が伝達や編纂の過程で変化するという内容であり、これはリード文における建太とエリの会話から想定できるものである。よって、④のみが適当でない選択としてありえるものだという。

以上より、正解は④。

問 4 4 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 クローヴィスは、496年にキリスト教の正統である**アタナシウス派に改宗した**。この時代はまだ東ローマ帝国が存在しており、その皇帝が「ローマ皇帝」位にあったといえる。よって不適。ちなみに、ローマ教皇からローマ皇帝の戴冠を受けた人物としては、神聖ローマ帝国の初代皇帝である**オットー1世**が有名。
- ② 誤 リード文から、**王妃がクローヴィスに改宗を促し続けていた**ことがわかる。
- ③ 正 リード文に「この敵に私を勝たせてくれるならば（中略）私はあなたを信じ」とあるように、クローヴィスは現実的な力の強さをアタナシウス派に求めていたと考えられる。
- ④ 誤 レコンキスタはイベリア半島がイスラーム勢力に支配された**8世紀以降の運動**であり、クローヴィスの改宗時には起こっていない。

以上より、正解は③。

問 5 5 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 **フスの火刑**を描いた図版。イギリスの**ウィクリフ**の影響を受けてカトリック教会の世俗化を批判したベーメンのフスは、1414 年の**コンスタンツ公会議**で異端とされ、火刑に処された。
- ② 正 クローヴィスの改宗を描いた図版。よってリード文の主題を描いた図版として適当。
- ③ 誤 **ノルマン=コンクエスト**を描いた図版。1066 年に北フランスのノルマンディー公ウィリアムがイングランドを征服し、ウィリアム 1 世として即位してノルマン朝を建てた。
- ④ 誤 **百年戦争**を描いた図版。中国で発明された火薬は 13 世紀頃からヨーロッパに伝わり、14 世紀半ばから 15 世紀にかけての百年戦争では大砲が出現した。

以上より、正解は②。

問 6 6 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

リード文で引用されている『歴史十巻』が著されたのが 6 世紀なので、空欄 イに入る人は 6 世紀よりも前に存在した人物であることに注意しよう。

- ① 誤 サラディン（サラフ=アッディーン）は 12 世紀にアイユーブ朝を建国した人物。よって**リード文より後の時代の人物である**ため不適。また、彼はイスラーム教徒であり、キリスト教への改宗にあたって引き合いに出されるような人物ではない。
- ② 誤 トマス=アキナスは 12 世紀ルネサンスを代表する哲学者。よって**リード文より後の時代の人物である**ため不適。
- ③ 正 コンスタンティヌス（在位 306～337 年）は、**ミラノ勅令**を出してキリスト教を公認したローマ皇帝である。よって、クローヴィスを「新しいコンスタンティヌス」と表現することでキリスト教の保護者とみなしたことが推測できる。
- ④ 誤 ディオクレティアヌス（在位 284～305 年）は、**キリスト教に対する最大の迫害を行ったローマ皇帝**である。よって②と同様に、キリスト教への改宗にあたって引き合いに出される人物ではない。

以上より、正解は③。

平成 29 年度 大学入学共通テスト試行調査 世界史 B

第 2 問

出題範囲	人の移動や人口の増減
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：7 分 ふつう：9 分 苦手：10 分
講評	他の大問に比べて軒並み正答率が低く、受験生にとっては難しい大問だったと思われる。特に問 5 は時代横断的に中国社会での出来事を想起する必要がある、正答に至ることは難しかっただろう。一方で、問 6 のように大まかな年号を覚えていれば他の受験生に差をつけることができる問題もあるため、そのような問題で確実に正解できるようにしたい。

問 1 7 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 セルジューク朝の支配領域はシナイ半島以東にとどまっており、ナイル川流域にあるカイロまで至っていない。カイロを含むアフリカ北岸まで支配したのはオスマン帝国に限られる。
- ② 正 オスマン帝国の支配領域をみると、東ヨーロッパの大部分を覆っていることがわかる。よって適する。オスマン帝国は 1529 年と 1683 年にウィーン包囲を行ったことから適していると考えられる。
- ③ 正 モンゴル高原から各地に矢印が伸びていることがわかる。
- ④ 正 図をみると、トルコ系の勢力はアフガニスタンからインダス川流域に進出していることがわかる。奴隷王朝に始まるデリー＝スルタン朝はその多くがトルコ系王朝である。

以上より、正解は①。

問 2 8 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- 伸之 正 労働力の移動は奴隷貿易の廃止（1807 年）以降活発になった。中国系やインド系が中心となった彼らは、アメリカではクーリー（苦力）とよばれ、大陸横断鉄道の建設などに従事した。
- エレナ 正 図より正しい。
- ひとみ 誤 ヴァスコ＝ダ＝ガマのインド航路開拓（1500 年頃）以前からインドとアフリカ東岸の交流は盛んに行われており、ダウ船を使ったイスラーム商人が主な担い手だった。

以上より、正解は③。

問 3 9 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 アジア太平洋経済協力会議（APEC）によるアジア諸国との結びつき強化は、白豪主義の撤廃と同じ原因によって行われたものである。アジア系移民の流入やイギリスの EC 加盟によって、オーストラリアはアジア諸国とのつながりを重視せざるを得なくなったのである。
- ② 誤 アジア＝アフリカ会議（1955 年）はインドネシアのバンドンで開かれ、同国のスカルノ大統領が議長を務めた。
- ③ 誤 南アフリカでアパルトヘイトが撤廃されたのは 1990 年のことである。
- ④ 正 文章で「インドシナ半島からオーストラリアに移住した人がたくさんい」ること、表の第 6 位に「ベトナム」があることから、この選択肢が適するとわかる。

以上より、正解は④。

問 4 10 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- a 江南地方の開発が進んだのは、南宋（1127～1276 年）の時代。華北が金によって占領されたことで北方の漢民族が多数華南に移住したため労働力が増加したこと、日照りに強い占城稻が導入されたこと、そして新田開発が進展したことがきっかけである。その生産力は「蘇湖熟すれば天下足る」とまで言われた。
- b トウモロコシやサツマイモは新大陸由来の作物で、17 世紀後半以降にアジアまで伝わった。イの時期にあたる。
- c 農地の囲い込みは、イギリスで行われた第 1 次囲い込み（15 世紀末以降）と第 2 次囲い込み（18 世紀）が有名である。「穀物栽培の効率が向上した」という記述は、第 2 次囲い込み（産業革命の頃）について説明したものだと考えられる。
- d 中国で鉄製農具や牛耕農法が普及したのは、戦国時代（紀元前 3 世紀頃）のことである。アの時期にあたる。

以上より、イ - b となる③が正解。

問 5 11 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 2 世紀末の中国は後漢の末期で、黄巾の乱などが起こっていた時代である。X の時期にあたる。
- ② 誤 現住地で所有している土地・資産に基づいて課税する税法は**両税法**である。780 年頃に楊炎の建言で導入され、それまでの口分田に基づく租庸調制から大きく転換した。Y の時期にあたるため不適。
- ③ 誤 「外国遠征の失敗や大運河の建設負担によって反乱が広が」ったのは、隋の**煬帝**（在位：604～18 年）の時代。Y の時代ではないため不適。
- ④ 誤 宋代以降、大地主である**形勢戸**が小作農である**佃戸**に土地を耕作させることはあったものの、**戦争捕虜**を使った**大農場経営は中国では広く見られない**。よって不適。

以上より、正解は①。

問 6 12 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 強制裁培制度は、オランダが現在のインドネシアにあたる地域で行った植民地経営。コーヒー、サトウキビなどを強制的に栽培させた。これが始まったのは **1830 年**のことであり、時期が不適。
- ② 誤 ゲルマン人が大移動したのは **4 世紀末～5 世紀**のことであり、時期が不適。
- ③ 誤 ラダイト運動（機械打ちこわし運動）は、手工業職人が産業革命に反発して行った運動。**1800 年前後**のことである。よって時期が不適。
- ④ 正 三十年戦争は **1618～48 年**に起こった。三十年戦争の講和条約である**ウェストファリア条約**の締結が 1648 年であったことは覚えておきたい。よって、Z の時期と重なるため適した選択肢といえる。

以上より、正解は④。

平成 29 年度 大学入学共通テスト試行調査 世界史 B

第 3 問

出題範囲	世界史上の民衆反乱
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：7 分 ふつう：9 分 苦手：10 分
講評	第 2 問と同様に正答率が低かった。民族運動という切り口が高校生にとっては難しかったと思われる。特に問 4 や問 6 は極端に正答率が低かった。問 4 は韓国やイランの民族主義的な運動に関する流れを両方おさえていなければ正答できず、問 6 は歴史の大きな流れをつかんでおかなければ正解を選べなかった。その意味で、大きな流れを重視しつつ、それでもなお細かい知識も必要とするという共通テストの特徴がよく表れた大問だといえる。

問 1 13 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

人物 マリア＝テレジアはハプスブルク家のオーストリア大公（在位：1740～80 年）で、**オーストリア継承戦争**や**七年戦争**に参加した。一方、**エカチェリーナ 2 世**はロシア皇帝（在位：1762～96 年）で、啓蒙専制君主のひとりとして知られる。ピョートル 3 世はロシア皇帝（在位：1762 年）であり、後継となったのはエカチェリーナ 2 世しかありえない。

事績 ポーランド分割は 1772 年、1793 年、1795 年の 3 回にわたって行われ、最終的にポーランド王国は消滅した。**エカチェリーナ 2 世の在位期間に行われており**、ロシア・プロイセン・オーストリアが参加している。一方、**クリミア戦争**はロシアとオスマン帝国の間で行われた戦争だが、1850 年代の出来事であり、エカチェリーナ 2 世の在位期間ではない。

以上より、エカチェリーナ 2 世 - ポーランド分割に参加した となる④が正解。

問 2 14 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- a バスティーユ牢獄の襲撃（1789 年 7 月）を描いた図版。フランス革命初期の象徴的な出来事として知られる。
- b 血の日曜日事件（1905 年 1 月）を描いた図版。日露戦争のさなか和平や待遇改善を求める民衆に対して軍隊が発砲した事件である。第 1 次ロシア革命の契機として知られている。
- c インド大反乱（シパーヒーの乱）（1857 年）を描いた図版。インド人傭兵のシパーヒー（セポイ）の反乱を契機としてインド全体に広まった反乱である。これを受けてイギリスはムガル帝国の滅亡と東インド会社の解散を図り、インドに対する直接支配を行うようになった。

以上より、a→c→b となる②が正解。

問 3 15 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 ロマン主義はギリシアやローマの美術を模範とする古典主義に対し、感受性を重視する動きである。絵画ではドラクロワの『民衆を導く自由の女神』、文学ではバイロンやユゴーなどが有名。
- ② 誤 古代ギリシア・ローマの文化を理想とし、調和を重んじたのは古典主義。古典主義はロマン主義に対置される。
- ③ 誤 これはハーバード・スペンサーなどがとなえた社会進化論のことを指す。ダーウィンの進化論を社会にまで拡張したもの。
- ④ 誤 光と色彩を重視して主観的な印象を描いたのは、印象派。19 世紀以降に現れた印象派は、光や色彩を特に重視した作品づくりで知られる。代表的な作家にマネ、モネ、ルノワールなどがいる。

以上より、正解は①。

問 4 16 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- a 資料 1 は、**甲午農民戦争（東学党の乱）**に関する資料である。甲午農民戦争は日清戦争の原因となった反乱として知られており、1890年代半ばの出来事であると推測できる。一方、韓国が外交権を喪失したのは**第 2 次日韓協約**（1905 年）での出来事であり、資料 1 直前の状況として適切ではない。
- b 資料 2 は、**バーブ教徒の乱**に関する資料である。バーブ教徒の乱は、カージャール朝イランで 1848 年頃に発生した。イランはイギリスの保護国になっておらず、「2度のイギリスとの戦争によって」という記述はアフガニスタンについて述べたものである。よって適切ではない。

以上より、a - 誤、b - 誤 となる④が正解。

問 5 17 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

資料 3 は**マフディーの反乱**（1881～98 年）に関する資料である。ムハンマド＝アフマドによって主導されたマフディーの反乱が起こったのはスーダンで、地図上では b にあたる。

以上より、スーダン - b となる②が正解。

問 6 18 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

資料 1～3 はいずれも、周辺諸国や列強、国内の支配層に対する反発として起きた出来事に関する説明である。**これらの出来事がよりどころにしたのは、いずれも宗教だった。**資料 1 では東学という宗教の信者集団（東学党）が、資料 2 ではイスラーム教の指導者を名乗るバーブを信奉した人々（バーブ教徒）が、資料 3 では自ら「マフディー」（＝救世主）を名乗ったムハンマド＝アフマドを信奉した人が、それぞれ反発を起こしている。列強などの抑圧に対し、古くからの風習・宗教や文化をよりどころにして対抗したのがこれらの反乱だったのである。

以上より、正解は①。

平成 29 年度 大学入学共通テスト試行調査 世界史 B

第 4 問

出題範囲	世界史における家庭や家族
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：7 分 ふつう：9 分 苦手：10 分
講評	資料を使用する問題が多かった。地図を利用する問 5 は正答率が特に低かったが、大学入学共通テストでは地域間のつながりについて問われる可能性が高いため、人やモノの流れを意識して学習するようにしよう。

A

問 1 19 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ア 選択肢は資料 1 と資料 3。会話文から ア の系図は「先代の息子しか位についてい」ないことがわかる。資料 1 の「正統カリフの継承図」を見ると、初代から第 4 代はともにクライシュの血を引いているが、**それぞれの間に親子関係はない**。よって資料 1 は不適。
- 資料 3 の「カペー朝の系図」を見ると、初代から第 9 代まで系図が 1 本につながっており、「先代の息子しか位についてい」ないことがわかる。よって資料 3 は ア にあてはまる。
- イ 選択肢は資料 2 と資料 4。会話文から イ の系図は「後継者は男性だけれど、初代と血のつながりのある子孫とは限」らないことがわかる。
- 資料 2 の「ローマ皇帝の系図」を見ると、どの後継者も男性であり、「初代と血のつながりのある子孫」である後継者は第 3 代と第 5 代のみとわかる。よって資料 2 は イ にあてはまる。
- 資料 4 の「モンゴル帝国君主の系図」を見ると、どの後継者も男性だが、第 2 代は初代の息子、第 3 代から第 5 代は初代の孫であり、**「初代と血のつながりのある子孫」である**とわかる。よって資料 4 は不適。
- 以上より、ア - 資料 3 イ - 資料 2 となる③が正解。

問 2 20 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- a 誤 夫の死後に皇帝に即位して、国号を周と改めたのは、**武后**。唐の高宗の妻であった武后は、高宗の死後、後を継いだ中宗、睿宗を廃帝し、690年に自ら皇帝として即位し（**則天武后**）、国号を**周**（武周）に改めた。武后は、**中国史上で唯一の女帝**である。
- b **正** プランタジネット朝のイングランド王である**エドワード 3 世**は、フランスにおいてカペー朝が断絶したのちに**フィリップ 6 世**がヴァロワ朝の国王として即位すると、自身の母親がカペー家出身であったことを口実にフランス王位継承権を主張し、**百年戦争**を引き起こした。

以上より、a - 誤 b - 正 となる③が正解。

問 3 21 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- a **正** 資料 1 の「正統カリフの継承図」を見ると、初代から第 4 代の正統カリフの共通の祖先として、**クライシュ**がいるとわかる。クライシュの子孫は、**クライシュ族**と呼ばれている。
- b 誤 カリフ位が世襲になったことや、第 4 代の正統カリフであるアリー以降のカリフについては、**資料 1 から読み取ることはできない**。
- あ 誤 アリーの子孫のみが指導者であるべきだとする人々は、**シーア派**と呼ばれた。少数派であるシーア派に対して、多数派であるスンナ派は、アリーの子孫以外の代々のカリフを正統と認めている。
- い **正** イランでは、サファヴィー朝がシーア派を国教とした。シーア派を国教とした国家としては、他に**ファティマ朝**、**ブワイフ朝**などが存在する。

以上より、a - い となる②が正解。

B

問 4 22 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

会話文から「ウ」は「南アメリカ原産」であり、「16 世紀ごろにヨーロッパに伝わった」ことがわかる。

- ① 正 ジャガイモについての文章。痩せた土地でも育ち栄養価が高いことから「貧者のパン」と呼ばれることもあるジャガイモは、16 世紀頃に南アメリカからヨーロッパに伝わり、北ヨーロッパでは主食とされるようになった。アイルランドでは、1840 年代後半にジャガイモの不作による大飢饉が発生してアメリカなどへの移民が増加した。
- ② 誤 香辛料についての文章。アジアを原産地とする香辛料は、ムスリム商人が地中海東岸まで運び、そこからイタリア商人がヨーロッパまで運んでいた（東方貿易）。15 世紀末にオスマン帝国の進出によって東方貿易が困難になると、アジアと直接取引できるインド航路の開拓が活発になった。
- ③ 誤 塩についての文章と考えられる。イギリスの植民地当局によって塩の専売制度が敷かれていたインドでは、1930 年に非暴力・不服従の運動（第 2 次）の一環として、ガンディーが主導して専売制度に反対する塩の行進が行われた。
- ④ 誤 コーヒーについての文章。アフリカを原産地とするコーヒーは 17 世紀にヨーロッパに伝わり、コーヒーを提供するイギリスのコーヒーハウスやフランスのカフェは、市民の社交場となった。

以上より、正解は①。

問 5 23 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

イギリスに輸入される砂糖は、カリブ海地域や南アメリカのプランテーションにおいて生産されており、イギリス・アフリカ大陸・カリブ海地域や南北アメリカ大陸の間で行われた太平洋三角貿易で取引が行われていた。三角貿易では、イギリスからアフリカ大陸へは武器が、アフリカ大陸からカリブ海地域や南北アメリカ大陸へは黒人奴隷が運ばれた。そして、北アメリカ大陸からはタバコや綿花が、カリブ海地域や南アメリカ大陸からは砂糖やコーヒーなどがイギリスへ輸出された。

以上より、正解は②。

問 6 24 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

会話文から、資料 6 は 19 世紀半ば（1846 年）に描かれたとわかる。

- a 正 1689 年の「権利の章典」によって立憲政治が成立したイギリスにおける、政治権力を有さないという国王の地位は「(王は) 君臨すれども統治せず」の言葉に象徴される。
- b 誤 ドイツ皇帝ヴィルヘルム 2 世が世界政策を打ち出したのは、19 世紀末（1896 年）の出来事であるため、資料 6 が描かれた 19 世紀半ばとは時代に差がある。
- あ 正 19 世紀半ばのイギリス社会では、男性は工場など家庭の外で働き、女性は家庭の中で家事に励み、良き妻・母として男性を扶助することが望ましいとする家族観が普及した。
- い 誤 戦争による労働力不足を補うために、女性も工場など家庭の外で働くことが望ましいとする家族観が広まったのは、第一次世界大戦中。

以上より、a - あ となる①が正解。

平成 29 年度 大学入学共通テスト試行調査 世界史 B

第 5 問

出題範囲	第一次世界大戦
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：7 分 ふつう：9 分 苦手：10 分
講評	問 4 は(1)に正答が複数存在し、(1)で選んだ選択肢によって(2)の正答も異なってくるという、共通テストならではの傾向が見られた。しかし、問われていたパレスチナをめぐるイギリスの外交は、センター試験ではしばしば問われる定番と言える内容だったため、しっかり正解したい。

A

問 1 25 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 「ア - ナチ党による一党独裁が行われること」とあるが、ドイツにおいてナチ党（国民社会主義ドイツ労働者党）が一党独裁を行ったのは、**第二次世界大戦のころ**である。「イ - ポリシェヴィキが権力を握って」とあるが、ポリシェヴィキが権力を握ったのは、**ソ連**である。
- ② 誤 「ア - 共産党による一党独裁が行われること」とあるが、ドイツにおいて**共産党による一党独裁が行われていたという事実はない**。ちなみに、冷戦期に東ドイツで一党独裁を行っていたのもドイツ社会主義統一党であり、ドイツ共産党ではない。「イ - 14 か条を受け入れて」とあるが、**ドイツが 14 か条を受け入れて戦争が終結したわけではない**。
- ③ 正 「ア - どの政党・団体も戦争を支持すること」とある。資料 1 には「党派の違い，地位や宗派の違いなく（中略）団結することを固く決意している」とあり、これはどの政党・団体も戦争支持で団結することを意味している。「イ - 皇帝が亡命して」とある。ドイツでは、1918 年 11 月 3 日にキール軍港で水兵が反乱を起こすと、皇帝ヴィルヘルム 2 世がオランダに亡命し、11 日には連合国との間で休戦協定が結ばれた。
- ④ 誤 「ア - 政党というものが理解できないこと」とある。たしかに、資料 1 の「余はもはや党派なるものを知らぬ」は「政党というものを理解できない」という意味にもとれるが、**その後の文脈から誤りとわかる**。「イ - ヴァイマル憲法が制定されて」とあるが、ヴァイマル憲法の制定は、**第一次世界大戦の終結後**である。
- 以上より、ア - どの政党・団体も戦争を支持すること イ - 皇帝が亡命して となる③が正解。

問 2 26 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

ヨーロッパでは第一次世界大戦の結果、ドイツ帝国とオーストリア＝ハンガリー帝国は崩壊し、ポーランド・チェコスロヴァキア・ハンガリー・ユーゴスラヴィア（セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国）が独立した。この際、チェコとスロヴァキアが分離していないこと、ユーゴスラヴィアが1つの国家として成立していることに注意する。

以上より、正解は④。

問 3 27 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- a 誤 アウトバーン建設などによって失業対策が行われたのは、戦間期のドイツである。
- b 正 第一次世界大戦の結果、債権国となったアメリカは経済大国として繁栄を極め、T型フォードの大量生産に代表されるように、工業化が急速に進んだ。
- あ 正 工場において自動車が大量生産される様子を表した写真。工業化の急速な進展を背景に、アメリカでは大量生産・大量消費の社会が到来した。
- い 誤 1920年代、極度のインフレーションが起こったドイツの様子を表した写真。インフレーションの結果、ドイツの通貨であるマルクの価値は第一次世界大戦中の1兆分の1に下落し、写真のようにマルク紙幣の束は子どものおもちゃになるほどだった。

以上より、b - あ となる③が正解。

B

問 4 28 29 正解は ②・⑤ または ⑥・②

難易度 ★★★★★

解説

(1)

資料 4 はフサイン・マクマホン協定に関するもの、資料 5 はバルフォア宣言に関するものである。資料 4 では「アラブ人の独立を認め」とあるように、イギリスはアラブ人国家の独立を認めている。一方、資料 5 では「ユダヤ人のための民族的郷土^{ナショナルホーム}を設立することを好ましいと考えており」とあるように、イギリスはユダヤ人に対して国家の建設を持ちかけている。これらは相互に矛盾しており、現在のパレスチナ問題の原因となった。

(2)

②の場合 第一次世界大戦の結果、オスマン帝国の領土は委任統治領とされた。イギリスの委任統治領とされたイラクは、1921年にイラク王国として独立した。よって、正解は⑤。

⑥の場合 第一次世界大戦後、資料 5 のバルフォア宣言に基づいてパレスチナにユダヤ人が大量移住し、アラブ人との対立が激化した。イギリスの委任統治終了後、パレスチナ分割案に基づいて 1948年にイスラエルが建国されたが、これを認めないアラブ諸国との間でパレスチナ戦争（第 1 次中東戦争）が起こった。よって、正解は②。

以上より、正解は②・⑤または⑥・②。

問 5 30 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 火を尊び、善悪二元論を唱えたのは、ゾロアスター教。ゾロアスター教は、その火を尊ぶという特徴から拝火教ともいわれる。ゾロアスター教の善悪二元論や最後の審判の思想は、ユダヤ教やキリスト教に影響を与えた。
- ② 誤 『旧約聖書』と『新約聖書』を聖典としているのは、キリスト教。キリスト教では、ユダヤ教の教典である『旧約聖書』と、キリスト教の教典である『新約聖書』の両方が聖書とされている。
- ③ 誤 輪廻転生の考え方に立ち、そこからの解脱を解いたのは、仏教。バラモン教におけるヴァルナ制（カースト）を否定し、輪廻からの脱却と生老病死の四苦をはじめとする人生苦の解決を説いた。
- ④ 正 ユダヤ人の民族宗教であるユダヤ教は、ヤハウェを唯一神とし、ユダヤ人のみが救われるとする選民思想や、厳格な戒律主義、救世主の出現を信じるメシア信仰などを特徴とする。ユダヤ教は、キリスト教やイスラームの成立に影響を与えた。

以上より、正解は④。

平成 29 年度 大学入学共通テスト試行調査 世界史 B

第 6 問

出題範囲	近代オリンピックと世界史とのつながり
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：7 分 ふつう：9 分 苦手：10 分
講評	選択肢を選ぶにあたって、グラフ上で指定されたオリンピックが開催・中止された頃の時代背景を理解できていることが求められる小問が多かった。なお、問 2 では正答を 2 つ選ばせるという大学入学共通テストならではの傾向が見られ、正答率も他の小問と比べて低かった。

問 1 31 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 アメン＝ラー神が崇拝されたのは、**古代エジプト**。多神教における太陽神であるラーが、新王国時代にテーベの守護神アメンと結合してアメン＝ラーとなり、広く信仰された。
- ② 誤 **古代ローマ**では、コロッセウムと称される円形闘技場において、「パンと見世物」のうち「見世物」にあたる**剣闘士試合**などが開催された。
- ③ 誤 バラモンが祭儀を司ったのは、**古代インド**。『ヴェーダ』を聖典とするバラモン教は、階層身分制度である**ヴァルナ**と強く結びついており、最上位の司祭階層であるバラモンの権威が強かった。
- ④ 正 古代ギリシアにおいてオリンピアの祭典は、デルフォイの神託と並んで重視された。デルフォイの地には**アポロン神殿**があり、古代ギリシアの多くのポリスの指導者は、植民や戦争など重要な決定の際にはデルフォイの神託にその是非を問うた。

以上より、正解は④。

問 2 32 正解は②・⑤

難易度 ★★★★★

解説

グラフ中の B の時期（1932 年）は、1929 年に起こった**世界恐慌**の直後である。

- ① 誤 カトリックとプロテスタントが激しく対立していたのは、主に **16～17 世紀頃**。設問文は、**オランダ独立戦争**（1568～1609 年）や**三十年戦争**（1618～48 年）のことを指していると考えられる。
- ② 正 1932 年ロサンゼルスオリンピックでは、1929 年から発生した世界恐慌の影響で、選手の派遣を見送る国が続出した。また、飛行機の技術が発展途上だった当時、ヨーロッパ諸国の選手にとってアメリカ合衆国への移動は容易ではなかったことも、参加選手の減少につながった。
- ③ 誤 第 1 回万国博覧会が開催されたのは、**1851 年**。ロンドンにおいて、世界で最初の万国博覧会が開催された。
- ④ 誤 ビキニ環礁で行われた水爆実験に対して反対運動が広がったのは、**1950 年代後半**。1954 年にビキニ環礁で行われた水爆実験によって第五福竜丸の乗組員が被ばくした事件を機に、原水爆禁止運動が世界的に広がり、1955 年には広島で原水爆禁止世界大会が開催された。
- ⑤ 正 1929 年に始まった世界恐慌は、当時のアメリカが圧倒的な経済力を持っていたため、他の資本主義諸国にも大きな影響を与えた。
- ⑥ 誤 環境問題が深刻化し、二酸化炭素の排出量が規制されたのは、**1997 年以降**。1997 年に京都で開催された会議において、先進国の温室効果ガス削減目標を含む京都議定書が採択された。

以上より、正解は②・⑤。

問 3 33 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

グラフ中の C の期間（1937～47 年）は、第二次世界大戦の前後である。

- ① 誤 **第一次世界大戦**に関連する資料。オスマン帝国の弱体化やバルカン諸民族の対立、帝国主義諸国の進出などにより「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれていた、第一次世界大戦直前のバルカン半島の情勢を描いた風刺画である。
- ② 誤 **南アフリカ戦争**に関連する資料。カイロとケープタウンを鉄道で結ぶ**アフリカ縦断政策**の一環として、ケープ植民地の北方にあったブール人国家を侵略する南アフリカ戦争が 1899 年から起こった。図は、カイロ・ケープタウン間に鉄道用の電線を敷設するセシル＝ローズの風刺画である。
- ③ 誤 **日清戦争**に関連する資料。1880 年代後半、朝鮮（図下の魚）をめぐる対峙する日本（図左）と清（図右）を、ロシア（図中央）が見つめているという、朝鮮半島をめぐる 3 国の対立関係を描いた風刺画である。
- ④ 正 第二次世界大戦に関連する資料。ファシズム国家のドイツと共産主義国家のソ連が 1938 年に**独ソ不可侵条約**を結んだことを、両国の指導者である**ヒトラー**（図左）と**スターリン**（図右）の結婚式にたとえた風刺画である。

以上より、正解は④。

問 4 34 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- a 誤 南北戦争が勃発したのは、1861 年。また、リンカン大統領が奴隷解放宣言を発したのは、南北戦争の最中である。
- b 正 1950 年代から後半から、黒人に対する差別の撤廃と基本的人権を要求する公民権運動（黒人解放運動）が活発化した。キング牧師は運動の代表的な指導者である。
- 以上より、a - 誤 b - 正 となる③が正解。

問 5 35 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 イギリスのチャーチルは、ソ連が西ヨーロッパの資本主義陣営との間に「鉄のカーテン」を降ろし、その東側を共産圏としていると非難する演説を行った。
- ② 誤 アメリカ合衆国が、ソ連（共産圏）の拡大を阻止するため、「封じ込め政策」を行った。アメリカのトルーマン政権が 1947 年にトルーマン＝ドクトリンで「封じ込め政策」を掲げ、反共諸国に対して経済的支援（マーシャル＝プランなど）や軍事的支援（北大西洋条約機構など）を行うことで、ソ連の勢力拡大を防止しようとした。
- ③ 誤 チェコスロヴァキアの「プラハの春」による自由化は、ソ連によって抑圧された。チェコスロヴァキアでは 1968 年にドブチェクのもとで自由化運動が爆発的に広まったが、ソ連と東欧 5 か国による軍事介入を受けて、自由化運動は抑え込まれた。
- ④ 誤 フルシチョフがスターリン批判を行ったことで、東西関係の緊張が緩和した。ソ連においてスターリンの死後に共産党第一書記となったフルシチョフが、ソ連共産党第 20 回大会においてスターリンの個人崇拜・大量粛清などを批判し、西側国家との平和共存政策を打ち出したことで、東西冷戦が緩和した。

以上より、正解は①。

問 6 36 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

誤っているものを選ぶことに注意したい。

- ① 正 1830 年の（インディアン）強制移住法によって、ミシシッピ川東岸のインディアンはミシシッピ川以西に追放された。この移住は、途上で多数の死者が出たことから「涙の道」とよばれた。
- ② 正 インカ帝国では、縄の結び方によって意味や数量を示すキープ（結縄）が用いられていた。
- ③ 正 ニュージーランドは 1840 年にイギリスに併合され、先住民であるマオリ人は入植者に土地を奪われて人口を激減させた。
- ④ 誤 フランス革命後のラテンアメリカにおいて独立運動を主導したのは、ラテンアメリカ生まれの白人であるクリオーリョである。一方、メスティーソは、ラテンアメリカにおける白人とインディオ（先住民）の混血である。

以上より、正解は④。